

下館ロータリークラブ会報

発行日：平成29年9月13日

第02450号



ロータリー：
変化をもたらす

イアン H.S. ライズリー 2017-18 RI会長

祇園祭 (7月最終週の木曜日から4日間)

玉のような汗を飛ばす男衆の大神輿。

若き女性の肩にゆられる姫神輿。

筑西最大の夏の風物詩「祇園まつり」の
迫力とエネルギーは圧巻です。



今週のプログラム

卓話

同友クラブ 笠倉勉会長

次週のプログラム

会員卓話 舘野博会員



会長/永盛 武

副会長/加藤昌美

幹事/中里泰久

会長エレクト/永井啓一

クラブ会報・広報・雑誌・記録委員会

委員長/神山芳子

副委員長/菊池祥明・木幡 浩・堀江 勤

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2802回 2017/8/30(水)

お 客 様 ようこそ下館 R C へ

尾 家 啓 之 様

(常陽産業研究所チーフエコノミスト)

会 長 挨 拶 永 盛 武 会 長

この度、下館クラブが後援する青少年育成筑西市民の会主催「第24回筑西市少年の主張大会」に寄せる子供たちの作文を読んでの感想ですが、我々大人が参考になる文章ばかりで中にはロータリー精神に匹敵する文章もあり、甲乙付け難く感心させられました。

そう言えば最近10代の若者の活躍に目覚ましいものがあります。例えば、将棋界では藤井四段・卓球界の張本選手(先日ワールドツアーで優勝)・3m板飛び込みの金戸選手等彼らのコメントがしっかりしていて素晴らしい。特にソチオリンピックでメダルを逃した時のスキージャンプ高梨選手の敗戦の弁は、20代の他の選手が自己中心の一喜一憂するコメントに対し、高梨選手は視線をきっちりと相手に向け、しっかりした口調で「これまで自分を支えて頂いた方々の期待に応えることができなかった悲しさ」だった。

思い起こせばゴルフ界のタイガーウッズ選手が21才でマスターズトーナメント初優勝時のコメントが実にすばらしく、これが本当に21才の若者の弁か?と思ったことがあった。そこには何れも哲学が感じられる。

早くも2カ月が過ぎようとしている。27日(日)は地区における会長・幹事研修会があった。機会をみて皆様に報告させていただきます。

今日の一言「無関に遊ぶ」 安岡正篤著

人間は小成に安んじないよう、意外に早く固まってしまうぬように、伸びがとまらないように、いつまでも若く、いつまでも伸びていく、いつまでも進歩発展していくことが大事。

年と共に変化していき、途上の難関を幾関か通って無関に遊ぶということが大切なのであります。

幹 事 報 告

中 里 泰 久

○第37回ライラセミナーの記録誌受理

○牛久ロータリークラブ 30年のあゆみ受理

○the rotarian 受理

○理事会(9月6日)の案内と委員会組織表をメールBOXへ入れておきました。

青少年奉仕委員会からのお知らせ

島 田 茂 委員長

先週もお知らせしましたライラセミナーの参加申込期限が、明日8月31日(木)となっておりますので、希望者は本日、私の方迄お申し込み下さい。

ロータリー財団委員会からのお知らせ

佐 藤 昭 委員長

財団奨学生申し込みが始まっております。参加申込期限は10月末日までとなっております。希望される方は、私迄御一報ください。

卓 話 尾家啓之様(常陽産業研究所)



体験的政治経済論

本日は体験的政治経済論ということで、私が携わったこれまでの経験も踏まえ、政治と経済について最近のテーマを一つずつ取り上げお話をさせていただこうと思います。

まず、政治に関しては、今回の加計学園獣医学部新設問題について取り上げたいと思います。わが国のあるべき政治と行政のあり方を考える上でとてもいい事例と思われるからです。



と申しますのも、今回の問題は、まさに私が内閣官房に出向していた時の橋本龍太郎内閣の看板政策であった行政改革(行革)にルーツがあるからです。どういうことかと言いますと、各中央省庁がもっぱら主導していた古い行政の体質から脱皮し、内閣総理大臣(官邸)主導で政策の骨格を決め実現していくことこそ橋本行革が目指していたものだったからです。さて、前文部科学事務次官の前川さんが、本件で「行政が歪められた」と語りました。半世紀以上もの期間獣医学部の新設がなかったこと(獣医師が過剰になることを理由に文部科学省は16大学以外に認めてこなかったこと)の是非については私には判断できませんが、確かに文部科学省がこれまでやってきたこと(新たな獣医学部を認めなかったこと)を否定され、その論理は歪められたのでしょうか。ただ、ここで考えていただきたいのが、行政の長は究極的には時の内閣総理大臣だということです。また、選挙を経た国会議員が半数以上を占める内閣が中央省庁をコントロールするという意味でわが国の間接民主主義(議院内閣制)が保たれているのだと思います。新たな獣医学部を認めることが文科省の省益ではなく国益に反するのであれば、その時点で文科省は徹底的に官邸と議論し反論すべきだった、あるいは文科大臣と共に首相を説得すべきだった。それでも通らないときは、それこそ身体を張ってやめる。そうすると、必ず国民的な議論になりますから、それを踏まえて決着すべきだったのではないかと思います。国家戦略特区を活用するかたちで、通常では認められなかった岩盤規制に穴を開けたところまでは、政治(官邸)主導が発揮された典型的なケースと考えるべきだと私は思っています。ただ、その穴から、総理のお友達が入っていきこうとした、そこにその問題が複雑骨折した最大の理由があったのだと思います。そして、こうして行った岩盤規制の構造改革がわが国の成長力にどのように寄与するかという点(そして、そもそもこれが国の基本方針、あるいは骨格といえるような政策なのか)について検証されていないことについては物足りなく思います。

さて、それでは後半は経済(日本の金融政策)の話をしたいと思います。今、わが国全体の景

気は循環的には割りといい状態になっています。予期せぬショックがない限り、おそらくあと1年半くらいは1%台半ばくらいの成長が見込まれそうです。そして2019年度の前半あたりでオリンピック需要が一巡し、その後景気は巡航速度(0%台後半<0.75%程度>)近辺まで低下していくと思います。通常景気が良い時には、徐々に物価が上がっていきますので、緩和策を中立に戻し、やがて引き締めに転じていかなければならないのですが、物価はまだ+0.5%程度と、少しは上がっていますが、目標としている2%には達していません。そこで今注目されているのが賃金の動向です。パートの時間当たり名目賃金は足もとでプラス2%前半と高めの伸びになっていますが、一般労働者の賃金は1%程度にとどまっています。それでも、一般労働者の賃金も緩やかに伸び率を高めていけば、徐々に物価にも火が付いてくると思います。日銀の見通しとしてはこのほど物価上昇目標2%の達成時期を改めて後ずれさせ2019年度頃としています。今のままですと、それを実現するまで、延々とこれまでと同様金融資産(国債)の膨大な買い入れが続きます。買い取る資産にも限界があります。一方、仮に目論見どおり2%の物価上昇が実現できたとした場合には、その時点で金利に上昇圧力がかかり、日銀が保有している膨大な金融資産(主として国債)の含み損が発生します。さらに、超過準備預金に対しても利払い負担が増加します。こうなることによって日銀の収支がマイナス(赤字)になる。ないし日銀のバランスシートが悪化します。(いわゆる出口問題)。私は、物価上昇それ自体が究極的な目標ではなく、日銀法に書かれているように「物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資すること」に主眼が置かれるべきだと考えます。政府の成長戦略と共に掲げた2%の物価目標は、当初の2年はおろか4年半かけても実現できていない。7年経っても実現できるかどうかわからないわが国には高すぎる目標だということも徐々にわかってきたと思います。日銀としては、特に緩和政策が長期化することに伴う副作用に焦点を当ててこれまでの政策を総括すべきだと思います。そして、例えば消費者物価上昇1%程度をめどとして、



その前後 0.25 %あたりを許容範囲として政策運営の枠組みを改めて構築していったらどうかと思っています。

第1回会長・幹事会に出席

8月27日(日)午後1時より、石岡プラザホテルで開催されました。

ガバナーから京セラフィロソフィから抜粋した「人生・仕事の結果＝考え方 × 熱意 × 能力」

- よい心**
1. 常に前向きで、建設的である
 2. みんなと一緒に仕事しようとする協調性をもっている
 3. 明るい
 4. 肯定的である
 5. 善意に満ちている
 6. 思いやりがあって優しい
 7. 真面目で、正直で、謙虚で、努力家である
 8. 利己的ではなく、強欲でない
 9. 足るを知っている
 10. 感謝の心をもっている
- 悪い心**
11. 後ろ向き 否定的 非協力的である
 12. 悪意に満ちて、意地が悪く、他人を陥れようとする
 13. 不真面目で、うそつきで、傲慢で、怠け者である
 14. 利己的、強欲、不平不満ばかり言う
 15. 人を恨み、人を妬む

こんなことを頭に置いてクラブ運営をしていたら退会者の減少、そして会員拡大に繋がっていくのではないかと挨拶があり、各委員会の報告、会員増強の現況報告があり、また今年度は3年以内新会員向けオリエンテーションを地区で開催するとの報告がありました。

マイルBOX 岩崎晴男委員長

- ▶永盛 武さん 尾家様の卓話を記念して。
- ▶中里 泰久さん 尾家啓之様ようこそおいで下さいました。卓話宜しく願います。
- ▶日向野 陽さん 尾家啓之様の卓話楽しみです。
- ▶加藤 昌美さん 常陽産業研究所、尾家啓之様ようこそおい出下さいました。
- ▶関谷 徹さん 今月も本業を支えてくれた従業員達、そして家族に対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

- ▶鈴木 光則さん 常陽産業研究所チーフエコノミスト尾家様、卓話宜しく願います。
- ▶早瀬 浩一さん 常陽産業研究所チーフエコノミスト尾家様、卓話宜しく願います。
- ▶永井 啓一さん 尾家様、卓話楽しみにしておりました。宜しく願います。
- ▶島田 茂さん 常陽産業研究所、尾家様ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみです。
- ▶中丸 健さん 今月も本業を支えてくれた従業員達、そして家族に対し感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。
- ▶馬場 保さん 尾家様、卓話宜しく願います。勉強させていただきます。
- ▶百目鬼博行さん 尾家様の卓話を記念して。
- ▶木幡 浩さん 尾家様、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしております。
- ▶外山 壽彦さん 尾家啓之様、本日の卓話宜しく願います。
- ▶秋葉 浩一さん 尾家チーフ、大変お忙しいところありがとうございます。本日の政治経済に関する卓話大変楽しみにしております。
- ▶佐藤 昭さん 常陽産業研究所、尾家様宜しく願います。
- ▶鈴木 健一さん 常陽産業研究所、尾家様ようこそいらっしゃいました。卓話宜しく願います。
- ▶潮田 武彦さん 常陽産業研究所チーフエコノミスト尾家様、卓話宜しく願います。
- ▶岩崎 晴男さん 尾家様、法人会でも何度か講演をお願いしました。本日もようこそ。

本日の合計 19,000 円 累計 201,000 円

出席報告 鈴木健一副委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
32	21	9	0	2

■メイクアップ (敬称略)

8月26日 雑草対策研修会

外山 壽彦 永盛 武 中里 泰久

8月27日 古河東RC 神山 芳子

8月27日 会長・幹事会

永盛 武 中里 泰久